

「当たり前」を「当たり前」と 感じないために…

ひっでえもんがいいとこやざあ〜

福井市は、福井平野の中心に位置し、日本三名山の1つである白山を主峰とする白山連峰を間近に望み、荒々しくも美しい日本海、そして九頭竜川、足羽川、日野川の3大河川を擁する豊かな自然に恵まれたまちです。また、この自然の中で育まれたバラエティーに富んだ良質な食材の宝庫であり、福井が生んだブランド米のコシヒカリ、新保ナスや木田ちそなどの伝統野菜、金福スイカや越のルビー(トマト)などのブランド野菜、越前ガニやワカメといった海の幸などが有名です。さらには、国の特別史跡・特別名勝・重要文化財の三重指定を受けている一乗谷朝倉氏遺跡をはじめ、旧福井藩主・松平家の別邸である名勝養浩館庭園に代表されるような優れた歴史的遺産や、県指定無形民俗文化財である馬鹿ばやし、重要無形民俗文化財である糸崎の仏舞などの文化的遺産を数多く有する、歴史ある、豊かな文化を育むまちでもあります。

さらに、本市(本県)は、合計特殊出生率、子どもの学力・体力、正規就業者の割合、女性の有業率、通勤時間の短さ、平均貯蓄率、住宅の広さ等、その他各種住みよさランキングにおいて常にトップクラスを誇り、豊かな生活を送ることができる地方都市です。

これらのことから福井県が全国幸福度ランキングNo.1(2016年 日本総合研究所)である由縁を感じることができます。

「おもっしえ〜」がいっぱい

福井市民の誇りGUIDEBOOKには、本市の「おもしろい!!」「こんないいところがあったんか!!」といったような郷土の良さを詰め込みました。もちろん各地区には、ここには載せきれない宝がまだまだ存在しているわけですが、本紙には各地区が厳選した「一押し」を掲載しています。食・歴史・文化と大きく3つのカテゴリーに分け、それぞれに写真を多く掲載しておりますので、雑誌のような感覚で気軽にご覧いただけるかと思います。ぜひ一度、目を通してみてください。

長年同じ場所で過ごしているとつい見落としがちな本市の「良さ」すなわち普段の生活の中で「当たり前」に感じている部分にも、実は本市ならではの素晴らしい事象が凝縮されているということを今一度再認識していただけたらと思います。

一人一イッチョライ

福井市教育委員会は、本市に存在する素晴らしい歴史・自然・文化・産業・景観・生活などの事象を楽しく学ぶことにより、郷土の個性や魅力を見つめ直して愛着心を育み、私たち一人ひとりが誇りと自信を持って生活することを目的とした「福井学」推進事業(郷土学習事業)を考案しました。平成19~23年度の5カ年計画で、市内公民館・小中学校・各種団体の協力のもとスタートしました。前半3年を「学びのステージ」、後半2年を「はばたきのステージ」と称して、体系的な学習に取り組みました。

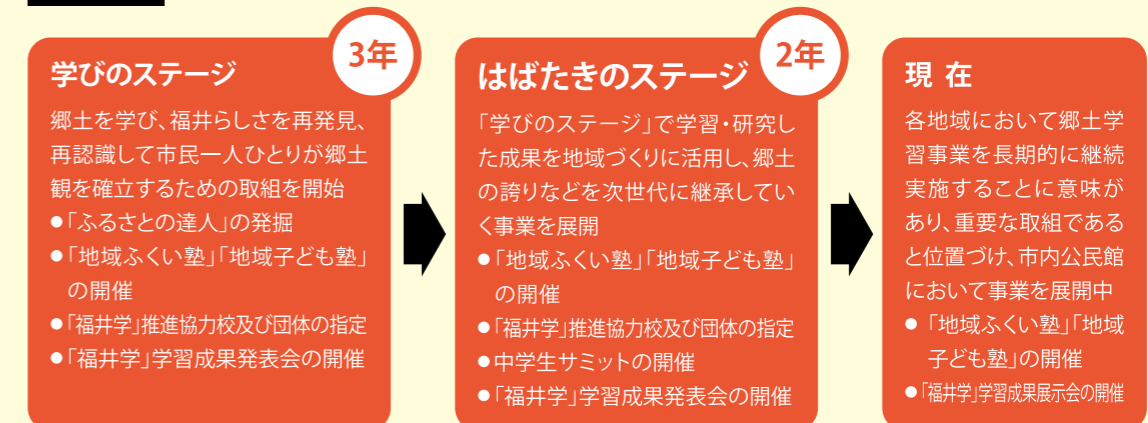
これらの学習を通して、福井市民一人ひとりが「とっておきの」本市の事象について、必ず1つは自信を持って自分の言葉で語るができるようになることをイメージして「一人一イッチョライ」^{*}を提唱しました。5年の計画終了後も、各地域における郷土学習事業は継続して実施することに意味があり、非常に重要な取組と位置づけ、現在も継続して本市の各地域において学習が推し進められています。

^{*}「イッチョライ」とは、福井の方言で“一張羅(とっておき、一番上等)”という意味です。

「福井学」推進事業のイメージ

最終目標 市民が主体となった心豊かな地域社会の創造

基本目標 一人一イッチョライを目指す



「福井学」学習センター(福井市中央公民館)

「福井学」の学習・研究活動促進のため、「福井学」学習センターの機能を持たせ、本市全域を対象とした学習機会の提供を実施

- 「福井学」基礎講座及び特別講座の開催